

前立腺がんの

「フォーカルセラピー(局所治療)」を先進医療として開始

経皮的な前立腺がんマイクロ波焼灼・凝固療法

前立腺「全体」の治療から

「がんが存在する場所だけ」の治療へ

～尿漏れや勃起障害の少ない低侵襲な治療をめざして～

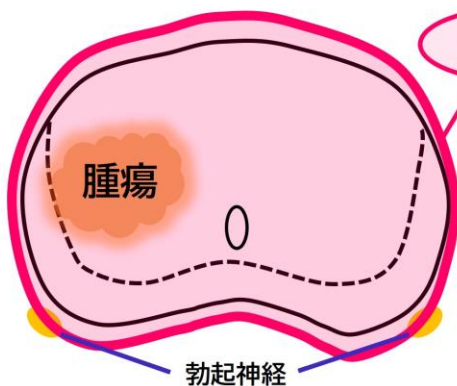
フォーカルセラピー (局所治療)

前立腺全摘出術や放射線治療では、前立腺「全体」を治療するため、治療後に排尿障害や勃起障害が起こる可能性があります。

フォーカルセラピー(局所治療)は前立腺全体ではなく、「命に係わるがんが存在する場所だけ」を標的とした治療です。排尿障害や勃起障害が起こる可能性は非常に少なくなります。

現在主に行われている

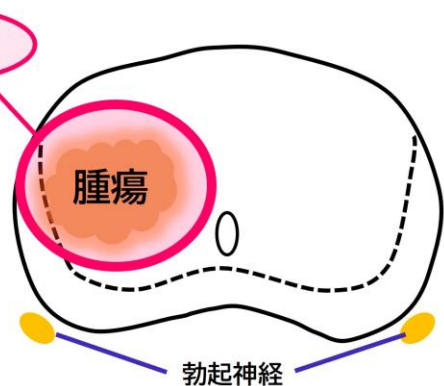
「前立腺全体」を対象とする治療



尿失禁や勃起障害をきたしやすい

今回行う

「前立腺の局所」を対象とする治療



制癌性がありながら、機能温存が可能

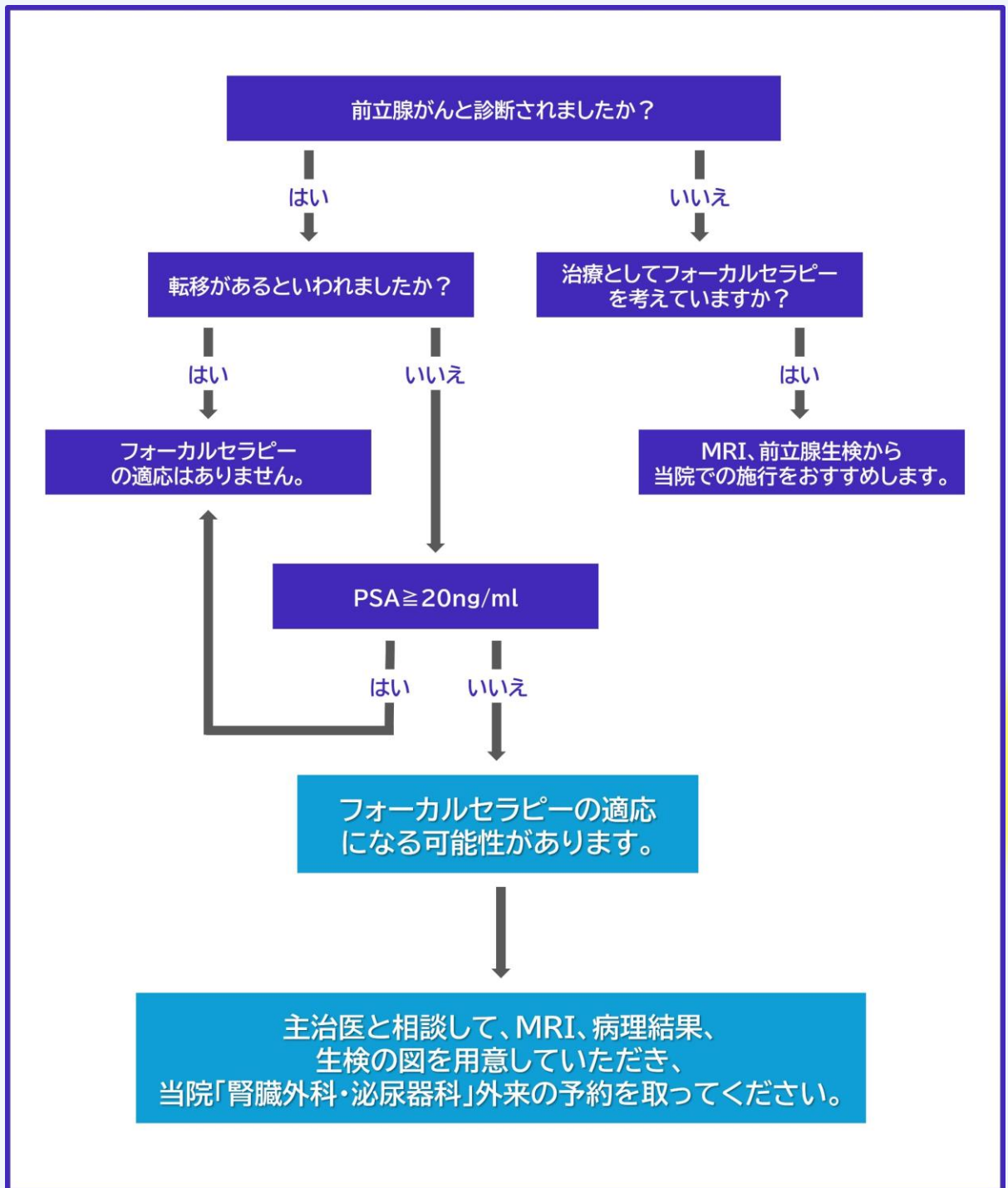
フォーカルセラピーの位置づけ

限局性がん(≦T2)		局所進行性がん(≧T3)	転移性がん
低リスク	中間リスク	高リスク	
監視療法			
フォーカルセラピー			
前立腺全摘出術			
放射線療法			
ホルモン治療			
			化学療法

フォーカルセラピーを選択する基準


- Point 1** がん病変が一つだけで前立腺内にとどまっていること。
- Point 2** MRIにて前立腺がんが見えていること。
- Point 3** 病変の悪性度とがんの大きさがフォーカルセラピーに適切であること。
- Point 4** 治療による利益が不利益にまさること。

受診を希望される方へ



*かかりつけ医(泌尿器科でなくてもOK)からの紹介状・予約が必ず必要になります。

- ・受診を希望される場合、まずはかかりつけ医へご相談ください。
- ・かかりつけ医より、「腎臓外科・泌尿器科」外来受診の予約取得をお願いいたします。



本治療は「先進医療」として実施されるため、通常の保険診療とは異なります。そのため、一定の自己負担が必要になりますが、医療保険に加入している場合、「先進医療特約」の対象となることが想定されます。詳細については、受診時にご説明いたします。

治療法としてフォーカルセラピーが適格かどうかは、医師の適切な判断が必要です。

- ・前立腺がんの中には進行がゆっくりのため、治療を急ぐ必要がないものもあります。
- ・がん病変がMRIで見えているより大きい場合があります。
- ・がん病変の場所によっては、機能温存の目的にかなわない場合があります。



使用機器情報・副作用など

マイクロ波による凝固療法は肝臓がんや子宮内膜症に対する治療として保険収載されています。使用機器は肝臓がんや子宮内膜症に対して使用されるものと同様にアルフレッドファーマ社製の焼灼術用電気手術ユニットマイクロターゼと、この機に接続する凝固用の針を使用します。

治療に際して予想される副作用としては、前立腺周辺臓器の損傷とそれに伴う機能障害、出血、浮腫、感染症などが想定されます。加えて、麻酔方法、体位(碎石位)に関連した一般的なリスクが想定されます。また、前立腺に関する特異的な副作用については、同意、説明文書にて患者様に対して説明を行っています。

Q & A

Q1.手術時間はどのくらいですか？

1時間程度です。

Q2.入院期間はどのくらいですか？

通常2泊3日です。
手術翌日におしこの管を抜いて状態をみて退院します。

Q3.費用はどのくらいかかりますか？

医療保険の先進医療特約に入られている方は利用可能と想定されますが、念のため保険会社にご相談ください。

3割負担	約350,000円
2割負担	約330,000円
1割負担	約300,000円

Q4.私は83歳だけど治療を受けることは可能ですか？

可能です。
20歳-85歳の方を治療対象としております。

